

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針

サステナビリティに関する取り組み推進体制
 マテリアリティに基づくKPI・目標
 ステークホルダー・エンゲージメント
 イニシアチブへの参加
 サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
 TNFD提言に基づく情報開示
 環境マネジメント
 脱炭素社会の推進
 自然災害対策
 生物多様性
 水資源
 循環型社会の推進
 環境配慮に関する外部評価・認証
 サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
 サプライチェーンマネジメント
 品質・お客様満足の向上
 不動産ストックの再生・活用
 地域社会・コミュニティへの貢献
 人材開発
 健康経営／労働安全衛生
 ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
 リスクマネジメント
 コンプライアンス

データ集

第三者保証

サステナビリティに関する取り組み推進方針

東京建物グループのサステナビリティに関する取り組み推進

当社グループは、将来にわたり推進する主なサステナビリティに関する取り組みとそれらを通じて実現すべき事項を掲げた「東京建物グループ サステナビリティ方針」をグループ共通で制定しています。

また、事業を通じて実現する社会との共有価値を意識し、「社会価値創出」と「価値創造基盤」の観点から、サステナビリティに関する取り組みにつながる14のマテリアリティ（重要課題）を特定しています。

さらに、2030年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」においては、事業を通じて「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立することで、すべてのステークホルダーにとっての「いい会社」を目指すことを掲げています。また、長期ビジョンの実現に向けて策定した中期経営計画（2025～2027年度）では、基本方針において「成長を支える経営インフラの高度化」を掲げ、その要素の一つとして「サステナビリティ（環境・社会・ガバナンス）」を特定しています。

これらに基づき、グループ一体となって様々なサステナビリティに関する取り組みを推進することで、企業としての成長を実現するとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

☑ 長期ビジョン・中期経営計画

東京建物グループ サステナビリティ方針

当社グループは、本方針をグループ共通で制定するとともに、本方針に掲げる内容をグループ全体で共有し、浸透させることで、グループ一体となってサステナビリティに関する取り組みを推進しています。

東京建物グループ サステナビリティ方針

私たち東京建物グループは、持続可能な社会の実現に向けて、グループ理念「信頼を未来へ」に基づき、事業を通じてサステナビリティの取り組みを推進していきます。そのために、グループ役員一人ひとりが、将来にわたり社会課題と誠実に向き合うとともに、すべてのステークホルダーと信頼関係および協力関係を築いていきます。

地球と共生する事業活動を通じて、持続可能な環境の実現に貢献していきます。

私たちは、環境に配慮した建物の開発や維持管理およびサービスの提供、都市における緑の創出と保全、脱炭素社会の推進に資するエネルギーの活用、循環型社会の推進に寄与する資源の活用、ならびに気候変動による自然災害への対応等を通じて、将来世代が安全・安心を実感することができ、快適でやすらぎのある暮らしを享受できる持続可能な環境の実現に貢献していきます。

「人」に寄り添い、だれもがいきいきと暮らせる社会の実現に貢献していきます。

私たちは、従業員の働きがいと働きやすさを向上させるための人材育成、健康増進およびダイバーシティ&インクルージョンの実践、お客様を第一に考えた商品・サービスの提供、地域社会に寄り添うまちづくり、そしてあらゆる人の価値観や人権の尊重に関する取り組み等を通じて、だれもがいきいきと暮らせる社会の実現に貢献していきます。

健全で公正な企業活動を通じて、持続的な企業価値の向上を実現していきます。

私たちは、法令、社会規範および企業倫理の遵守を徹底するとともに、リスクマネジメントの強化や適切な情報開示による透明性の確保等を通じてガバナンスのさらなる高度化に取り組むことにより、すべてのステークホルダーの信頼や期待に応え、持続的な企業価値の向上を実現していきます。

☑ 東京建物グループ サステナビリティ方針

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針

- サステナビリティに関する取り組み推進体制
- マテリアリティに基づくKPI・目標
- ステークホルダー・エンゲージメント
- イニシアチブへの参加
- サステナビリティに関する外部評価

環境

- TCFD提言に基づく情報開示
- TNFD提言に基づく情報開示
- 環境マネジメント
- 脱炭素社会の推進
- 自然災害対策
- 生物多様性
- 水資源
- 循環型社会の推進
- 環境配慮に関する外部評価・認証
- サステナビリティファイナンス

社会

- 人権の尊重
- サプライチェーンマネジメント
- 品質・お客様満足の向上
- 不動産ストックの再生・活用
- 地域社会・コミュニティへの貢献
- 人材開発
- 健康経営/労働安全衛生
- ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- コンプライアンス

データ集

第三者保証

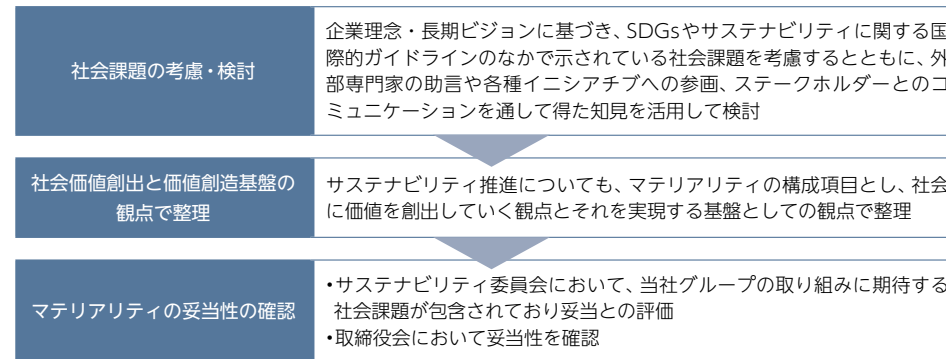
サステナビリティに関する取り組み推進方針

東京建物グループのマテリアリティ

当社グループは2019年に、国際的な課題(SDGs)にくわえ、国内または業界特有の課題を考慮して社会課題を抽出し、それらについて社会ニーズの大きさ、事業との親和性の観点から重要度を評価したうえで、マテリアリティ(重要課題)を特定しました。

その後、コロナウイルス感染症のパンデミック発生などにより、社会情勢や人々の価値観が大きく変化するなか、2030年を見据えた長期ビジョンの策定やその背景となる外部環境の変化を踏まえるとともに、経営計画との連動性をより高めることを意識し、2020年よりマテリアリティの再特定に着手しました。長期ビジョンに掲げる「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で実現していくにあたり、事業を通じて実現すべき社会との共有価値を意識し、「社会価値創出」と「価値創造基盤」の観点からサステナビリティに関する取り組みにつながる14のマテリアリティを特定しました。

現在のマテリアリティの特定プロセス



当社グループは、事業を通じてマテリアリティの解決に取り組み、社会に与える正の影響(機会)を最大化させるとともに、負の影響(リスク)の最小化を図ることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

東京建物グループのマテリアリティ

重要課題	社会との共有価値	SDGsへの貢献
<ul style="list-style-type: none"> 国際都市東京の競争力強化 安全・安心な社会への貢献 コミュニティの形成・活性化 ウェルビーイング 顧客・社会の多様なニーズの実現 価値共創とイノベーション テクノロジーの社会実装 不動産ストックの再生・活用 脱炭素社会の推進 循環型社会の推進 	<p>「場の価値」と「体験価値」の創出</p> <p>地球環境との共生</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 従業員の成長と働きがいの向上 ダイバーシティ&インクルージョン ガバナンスの高度化 リスクマネジメントの強化 	<p>価値を創造する人材</p> <p>サステナビリティ経営の実現</p>	

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針

サステナビリティに関する取り組み推進体制
 マテリアリティに基づくKPI・目標
 ステークホルダー・エンゲージメント
 イニシアチブへの参加
 サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
 TNFD提言に基づく情報開示
 環境マネジメント
 脱炭素社会の推進
 自然災害対策
 生物多様性
 水資源
 循環型社会の推進
 環境配慮に関する外部評価・認証
 サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
 サプライチェーンマネジメント
 品質・お客様満足の上昇
 不動産ストックの再生・活用
 地域社会・コミュニティへの貢献
 人材開発
 健康経営／労働安全衛生
 ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
 リスクマネジメント
 コンプライアンス

データ集

第三者保証

サステナビリティに関する取り組み推進方針

東京建物グループの長期ビジョン

当社グループは、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、2030年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」を策定しています。

..... 2030年*を見据えた長期ビジョン

次世代デベロッパーへ

人口動態の変化や人々の価値観の多様化、テクノロジーの加速度的な進展など、変化が激しく、不確実性が高まっている時代のなか、サステナブルな社会の実現に向けて様々な課題が顕在化している。

東京建物グループは、デベロッパーが果たす役割も大きく変わるべきだと考え、事業を通じて「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立することで、すべてのステークホルダーにとっての「いい会社」を目指します。

* グループ中期経営計画(2025-2027年度)対象期間より、長期ビジョンの目標時期を「2030年頃」から「2030年」に変更。

東京建物グループの中期経営計画(2025-2027年度)

長期ビジョン公表(2020年)以降、新型コロナウイルス感染症による人々の行動変容、地政学的リスクの高まり、異次元の金融緩和策からの転換、インフレ等による建築費の急激な高騰など、当社グループがおかれている事業環境の不確実性は一層高まっており、変化のスピードも加速しています。

このような認識のもと、長期ビジョンの実現に向けたマイルストーンとして、2025年度から2027年度までを対象とする中期経営計画を策定しています。

中期経営計画では、基本方針において「強靱かつしなやかな事業ポートフォリオの構築により、成長加速・資本効率向上を実現する」ことを掲げています。また、その土台として「成長を支える経営インフラの高度化」を掲げ、その要素として「サステナビリティ(環境・社会・ガバナンス)」「人的資本」「DX」を特定しています。

● SDGs達成への貢献

長期ビジョンは、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)のターゲットイヤーとも重なる2030年を見据えています。当社グループは、長期ビジョンにおいて様々な社会課題の解決による「SDGs達成への貢献」を掲げています。また、マテリアリティの解決による社会との共有価値の実現が、SDGs達成への貢献につながると考えており、デベロッパーとして、持続可能な社会の実現を目指して事業を展開していきます。

サステナビリティに関する意識啓発

当社グループは、グループ一体となってサステナビリティに関する取り組みを推進するために、当社およびグループ各社の役職員に対して各種研修等を実施し、意識向上を図っています。

サステナビリティ研修(eラーニング)の実施状況(2025年度)

テーマ	対象範囲	受講率(%)
<ul style="list-style-type: none"> 東京建物グループ サステナビリティ方針 東京建物グループの環境・社会関連目標の概要 東京建物グループの環境・社会関連目標の進捗状況と課題 人権:取引先で人権侵害が起こった際の対応フロー サプライヤーアンケート・面談結果 同業他社のサステナビリティに関する取り組み事例 	東京建物 全役職員*1	99.9
<ul style="list-style-type: none"> 東京建物グループ サステナビリティ方針 東京建物グループの環境・社会関連目標の概要 人権:「企業としての人権尊重」について 身近な環境の取り組み(エネルギー・廃棄物等) グループ各社のサステナビリティに関する取り組み 	グループ会社 全役職員*2	91.9

*1 出向者・契約社員を含み、産休・育休・休業中社員を除く。

*2 パソコンの支給有無など各社の状況に応じて一部対象者を調整。